

平成26年3月31日

関係各位

船橋希望学舎

世田谷区立船橋希望中学校

校長 徳永啓介

平成25年度学校関係者評価委員会の報告を受けた改善方策

学校関係者評価委員会の皆様方には、1年間にわたり熱心な分析・検討を経て、「学校関係者評価委員会報告書」をご提出いただきました。その労に深く感謝申し上げますとともに、次年度の学校経営にいかしてまいりたいと存じます。

関係者評価委員の皆様からは、「統合2年目であるが、全体として生徒・保護者とともに『評価が高い項目』が多く、今年度も成果の上がった1年であった。これは、昨年度の調査結果を踏まえ、『平成24年度学校関係者評価委員会の報告を受けた改善方策』を作成し、校長のリーダーシップのもと、教職員が様々な努力をして改善を図った結果である。」という評価をしていただき、総合所見から以下の課題を提言していただきました。

1. まだ的確な情報の提供や丁寧な説明や対応に課題があったことは否めない。保護者には必要な情報を的確に提供するなど、より一層丁寧な広報が必要である。
2. 「課題のある項目」は、今年度も生徒・保護者ともに進路指導である。アンケート集計結果では改善されてきてはいるが、なお一層の改善策の実施が必要である。
3. 地域関係者のご意見が適切に評価できるように、配布先の見直しと回答数の向上に、学校が努力すべきである。

これらについて、平成26年度は下記のように、昨年度の改善方策をより具現化できるように取り組んでいきます。

記

1. 学校全体にかかる広報活動の充実

- (1) 「ホームページ」や「学校便り」等を通して、学校全体に関わる広報活動をより充実させる。
- (2) ホームページの認知度を高めるため、「校外学習での進行状況」、「学校行事の様子」、「学年行事の様子」「生徒の部活動や地域での活躍」、「学び舎での取り組み」等をホームページに発信していく。また、「大規模地震発生時の下校方法」等、特に周知が必要な配布物は通年でホームページのトップページに掲載する。
- (3) 保護者会、PTA運営委員会、学校協議会等でホームページのPRを行う。

2. 進路指導における情報提供の改善

1学年：「職業講話」、「職業調べ」、2学年：「職場体験（3日間）」、「上級学校訪問」、3学年：「上級学校訪問」「都立高校による訪問授業」「面接講座」「身近な進路調べ」を実施してキャリア教育に関する学習を充実させ、生徒アンケートでは、昨年度に比べ、改善されてきていることが確認できた。しかし、保護者アンケートでは、改善されている項目もあれば、改善が認められない項目もあった。

昨年度に引き続き、「キャリア教育」の授業は、道徳、特別活動などでも実施されていることを、保護者会、進路説明会を通して周知するとともに、「職業講話」、「職場体験」、「都立高校による訪問授業」等のキャリア教育に関する学習の実施状況を、学年便り、ホームページ等を通して広報していく。

3. 地域関係者への配布先の見直しと回答数の向上

アンケート回収率は、保護者が 64.7%（昨年度 59.0%）、地域が 40%（昨年度 37.0%）であった。地域については、統合 1年目は、広くアンケートを依頼したため、回収率が低かった。また、「分からない」という回答もあった。2年目は配布数を絞ったため、データの比較が困難な状況を招いてしまった。

地域関係者の配布先については、学校運営委員会でも検討し、適切な配布先を決めデータの比較が可能な状況にする。

回答数の向上については、無記名調査のため、未提出者の確認ができないことが課題であるが、次のような P R 活動を行い、回収率を向上させる。

- ① 地域関係者については、学校公開期間、学校行事、学校協議会等で来校した際に、個別に声をかけて回収率を高めていく。
- ② 保護者については、提出締め切りを学芸発表会後に設定し、ホームページ、学年便り、P T A 運営委員会等を活用し周知していく。